



人びとの夢も、地球の夢も

～関わりあって、豊かな暮らし、生き方を～



2025 年度 事業報告書

2025 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日まで

NPO 法人エコネット近畿
(特定非営利活動法人近畿環境市民活動相互支援センター)



もくじ

2025 年度 事業報告書 事業期間 1 年間のまとめ	2
事業期間	2
2025 年度の基本方針	2
2025 年度 事業報告書 事業期間 1 年間のまとめ	3
1 年間のまとめ	3
1. 環境課題解決をめざした事業のコーディネート	4
1-1 団体の総合的な支援	4
1-2 企業の SDGs 活動支援	5
1-3 行政支援	6
2. 人材育成	7
2-1 講師及び委員の提供	7
2-2 近畿地方 ESD 活動支援センターの運営	7
2. 人材育成	8
2-3 行政との連携事業	8
3. 助成機関の支援・連携	9
3-1 助成サミットの開催	9
4. 環境・中間支援 ネットワークの構築	10
4-1 会員団体交流会	10
4-2 きんき環境館運営業務	10
4-3 ESD 近畿会議	11
4-4 各種ネットワーク、会議、プロジェクト等への参画	11
5. その他	12
5-1 個別相談業務	12
5-2 ホームページ、メールニュース、SNS による情報発信・公開	13
5-3 その他	14
運営体制	15
1 役員等の数	15
2 2025 年度総会の開催	15
3 理事会の開催	15
4 運営会議・プロジェクトチームの開催	16
会員の推移	17

2025 年度 事業報告書
事業期間
1 年間のまとめ

事業期間

2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日

2025 年度の基本方針

ビジョン

人々の夢も、地球の夢も ～関わりあって、豊かな暮らし、生き方を～



3 年後のビジョン

- ・ 目的の異なる多様な主体が、共に持続可能な社会に向けて取り組んでいる社会
- ・ 持続可能な地域のために、走り出した人が走り続けられる社会



事業の方針

- ・ **地域の伴走支援**
理事等を含めた支援チームを立ち上げ、3 件以上の地域の支援を実施する。
- ・ **企業の本質的な SDGs 活動の支援**
理事を中心に企業支援部門を立ち上げ 2 件以上の企業支援を行う。
- ・ **行政の環境施策や地域課題解決の支援**
行政からの委託事業等を通して、行政の施策を支援する。
また、行政からの相談対応にも積極的に対応し、後追いをを行う。
- ・ **資金調達セミナーの実施**
体制的に、本年度すぐに資金調達セミナーの開催が難しい可能性が高いが、いくつかの財団と試験的にセミナーを開催する、若手の団体に対してヒアリングを行うなど資金調達セミナーの実施に向けた準備を進める。
- ・ **近畿の情報交流会（行政、企業なども大きく巻き込む）**
過去に実施していた大規模な交流会実施ではなく、小規模な交流会または、大規模交流会に向けた実行委員会立ち上げを今年度行う。

1 年間のまとめ

① 地域の伴走支援

昨年度に続き、団体の活動や財源に関する対話を通じて、資金調達の検討や獲得に向けた活動支援を実施した。具体的には、助成金の情報提供や申請書類作成のアドバイスを行った。不採択となった団体には、再挑戦に向けた体制整備や方針のすり合わせを引き続きサポートする。

一方で、新規団体へのアプローチ不足により、支援団体数や支援チーム立ち上げ等の目標は未達となった。次年度は、既存団体の継続支援に加え、資金獲得のさらなる強化を図る。各団体の目的に適した課題解決に向け、伴走先を積極的に発掘し、対話と情報収集を通じて具体的な行動への橋渡しを推進する。

② 企業の本質的な SDGs 活動の支援

今年度は、理事を中心とした企業支援部門の立ち上げには至らなかった。しかし、過年度に比べて企業等からの相談や支援依頼が増加している。

また、企業から人と自然の共生を目指した共創プラットフォーム「Wellbe-Meeting」のサポーター枠での開催協力依頼を受け、実施することとなった。

③ 行政の環境施策や地域課題解決の支援

昨年度に引き続き、関西広域連合主催「関西脱炭素フォーラム」の開催業務を受託した。また、大阪府から「環境活動の推進に向けた高等学校等と事業者連携のためのデジタルカタログ制作業務」を受託。全国地球温暖化防止活動推進センターからは、「デコ活地域交流会(第2回近畿ブロック会議)」の開催協力依頼を受け、協力した。

2023 年度から請負を継続してきた、環境省「近畿環境パートナーシップパートナーシップオフィス運営等業務」に関しては、次期(2026 年度)のプロポーザルに参加しないこととした。理事会及びスタッフとの協議の結果、引き続き当該業務を継続することは、当法人ビジョンの実現に適切ではないと判断した。

④ 資金調達セミナーの実施

今年度は、認定 NPO 法人 Gift との共催で 1 泊 2 日の合宿型サミットを実施した。若手社会起業家や NPO 法人代表を引き継いだ若手を招き、地域課題に関する意見交換や情報収集の機会を創出した。資金調達セミナーの実施には至らなかったものの、本サミットを通じて次年度開催に向けた準備と検討が進んだ。

⑤ 近畿の情報交流会(行政、企業なども大きく巻き込む)

「エコネット近畿情報交流会」の開催に向けて企画実行委員会を立ち上げ、実行委員会を 9 回実施した。協議の結果、今年度はリニューアル開催に向けた検討期間と位置づけ、情報交流会の実施は見送ることとなった。

1. 環境課題解決をめざした 事業のコーディネート

1-1 団体の総合的な支援

目的 各地の団体の活動を活性化することで、持続可能な地域づくりに寄与する

目標 理事等を含めた支援チームを立ち上げ、3 件以上の地域の支援を実施する
→未達成（支援団体 1 団体）

昨年度に引き続き、資金調達方法の検討や資金獲得に向けた継続的な活動支援を実施した。団体の目的及び現状について、活動（事業）、組織体制、財源に関する理解を深めるべく、対面やオンラインを活用した対話を通じて把握できるよう努めた。

助成金申請支援では、相談者の活動に合致する助成金のリストアップと情報提供のほか、申請書類の作成にあたってのアドバイスを実施した。今年度は採択されなかった協働事業型の助成金への申請等においては、再チャレンジに向け、協働事業に参画するメンバー間の対話や今後の方針に関する共通理解を促す等、引き続き支援を継続する予定である。

今年度は、新規団体への声掛けやアプローチが不足し、支援団体数の目標には届かず、理事等を含めた支援チームの立ち上げには至らなかった。次年度は、関係団体の支援を継続しながら、具体的な資金獲得を強化していくほか、団体の活動目的や方向性に合った課題への取り組み方を一緒に考えられるよう、伴走先の発掘と具体的なアクションに落とし込むための情報収集や対話を行う。

【伴走支援の実施団体など（敬称略）】

- ・ NPO 法人棚田 LOVERS

【ヒアリング及び情報提供実施団体など（敬称略）】

- ・ NPO 法人夢ノ森伴走者 CUE
- ・ 一般社団法人山守
- ・ 公益社団法人大阪自然環境保全協会



【相談業務から協働実施に至った事業や団体など（敬称略）】 図 1 棚田 LOVERS 様 環境省視察同行

- ・ SDG サポーターズ 「SDGs 訪問学習（企業訪問）」支援
※訪問先企業の紹介及び当日までの調整を担当した。

上記のほか、今年度は、認定 NPO 法人 Gift のメンバーとともに、団体の伴走支援に関する情報交換や今後の連携に関する相談を実施した。相談にあたり、Future Creation Lab. オブリガード代表 森伊知郎氏による「緊張構造チャート」を用いた事業設計の整理・検討を行ったことで、休眠預金を活用した団体支援の在り方を考える機会となった。今後の連携については、引き続き検討を行うこととなった。

1. 環境課題解決をめざした 事業のコーディネート

1-2 企業のSDGs活動支援

目的 企業の本質的なSDGs活動の支援を行うことで、持続可能な地域・社会づくりに寄与する

目標 理事を中心に企業支援部門を立ち上げ2件以上の企業支援を行う → 支援件数達成（3件）

マンションの入居挨拶会に関する企画・運営の相談があった。エコネット近畿が実施してきた団体交流会等の交流イベントの経験やノウハウを活かし、会全体のプログラム作成やエコネット近畿ならではの環境に関連する要素を入れた企画を提案・実施した。また、2026年4月にも同様のイベントを実施予定。

【実施日時】2025年8月3日（日） 1回目：10：30～12：30／2回目：14：30～16：30

【実施場所】伊丹市立生涯学習センター（ラストホール）2F 多目的ホール（兵庫県伊丹市）

【実績】参加世帯数（参加者数）：50世帯（165名）

【実施日時】2025年9月28日（日） 1回目：10：30～12：30／2回目：14：30～16：30

【実施場所】千里文化センター「コラボ」千里公民館 2F 集会場（大阪府豊中市）

【実績】参加世帯数（参加者数）：43世帯（133名）

また、EMIELD 株式会社様より、企業のサステナビリティを実践として推進する立場にある方を対象とした、人と自然の共生を目指した共創プラットフォーム「Wellbe-Meeting」のサポーター枠での参加打診を受け、開催協力を実施することとなった。

▼EMIELD 株式会社「Wellbe-Meeting（ウェルビー・ミーティング）」紹介ページ

<https://www.emield.com/wellbe-meeting>

【実施日時】第1回 2026年1月14日（水）

第2回 2026年2月18日（水）

【実施場所】オンライン（Zoom）

今年度は、理事を中心とした企業支援部門の立ち上げには至らなかった。しかし、過年度に比べて企業等からの相談や支援依頼が増加しているため、多様な分野に精通する理事メンバーの強みを活かせる活動支援につなげたい。

1. 環境課題解決をめざした 事業のコーディネート

1-3 行政支援

目的 行政の環境政策や地域課題解決の支援

目標 支援行政数 1件 → 達成（3件）

昨年度に引き続き、関西全体で脱炭素社会の実現に向けた行動を主体的に行う機運を醸成することを目的とした、「関西脱炭素フォーラム」の開催業務を受託した。今年度も特設サイト「KANSAI 脱炭素 months」の更新及びサイト内のイベントカレンダー等の運営を行った。また、関西における脱炭素に取り組む機運醸成や事例等をより広く発信するため、当日のアーカイブ動画を2025年12月～2026年2月の期間で配信、周知を実施した。また、全国地球温暖化防止活動推進センターより、「デコ活地域交流会（第2回近畿ブロック会議）」の依頼を受け、開催協力を行った。（各事業の概要は以下を参照）

【事業名】 関西脱炭素フォーラム2025（令和7年度関西脱炭素フォーラム開催業務委託 受託）

【実績】 参加者数：308名 ※参加費無料

【実施日時】 2025年11月7日（金）13：30～17：30 ※13：00 開場／ブース展示開始

【実施場所】 マイドームおおさか 1階（大阪市中央区本町橋2番5号）

【登壇者】 ・織田 貴士氏（近畿経済産業局 資源エネルギー環境部 カーボンニュートラル推進室長）
・永見 靖氏（公益社団法人 2025年日本国際博覧会協会 持続可能性局長）
・児玉 智氏（関西電力株式会社 理事 ソリューション本部 副本部長（開発部門統括））
・梶野 嘉毅氏（山陽製紙株式会社 営業本部長） 武田 知子氏（山陽製紙株式会社 企画開発部 CSR室マネジャー）

【主催】 関西広域連合

【後援】 経済産業省近畿経済産業局、環境省近畿地方環境事務所、公益社団法人関西経済連合会

【URL】 <https://kansai-datsutanso-months.studio.site/>

【事業名】 デコ活地域交流会（第2回近畿ブロック会議）

【実績】 参加者数：約60名

【実施内容】 地域関係者、地域センター関係者（職員・指定元自治体）、行政機関（環境省地方環境事務所）、関係団体（環境パートナーシップオフィス、デコ活応援団）を対象とした交流会および4社（株式会社ライフサポート関西、滋賀県旅館ホテル生活衛生同業組、大和ハウス工業株式会社、日産自動車株式会社）からの事例紹介を実施した。

【実施日時】 2026年1月14日（水）14：00～17：00（受付 13：30～）

【実施場所】 TKP ガーデンシティ大阪梅田 カンファレンスルーム9B
（大阪府大阪市福島区福島5丁目4-21 TKP ゲートタワービル）

【主催】 全国地球温暖化防止活動推進センター（一般社団法人地球温暖化防止全国ネット）

2. 人材育成

2-1 講師及び委員の提供

目的

- ① エコネット近畿の取組や各地域の取組を広く周知するために講師を派遣する
- ② 地域の計画策定等に市民社会の意見を反映させるために、委員の提供を行う

目標 講師及び委員の提供 10回 → 未達成（のべ6回）

【実績】講演等：2件、委員委嘱：4件

<講演等>

・EMIELD 株式会社

「おおさか SDGs ビジネスマッチング 人と自然と地域の共生で築く未来 ～パートナーシップで加速する課題解決とビジネスの発展～」 2025年12月17日（水）

・NPO 法人棚田 LOVERS

「棚田×生物多様性×企業連携を考える 棚田 LOVERS 活動報告・交流フォーラム」
2026年度3月8日（日）

<委員委嘱>

- ・滋賀県環境学習等推進協議会 委員 2025年9月25日（木）、2026年2月9日（月）
- ・池田市環境審議会 委員 2025年10月16日（木）
- ・次世代ユネスコ国内委員会 委員 2025年6月4日（水）
- ・吹田市資源リサイクルセンター指定管理者候補者選定委員会委員
2025年10月28日（火）、2025年11月25日（火）

2-2 近畿地方 ESD 活動支援センターの運営

目的 ESD での人材育成により、地域の活動や課題解決の促進につなげる

※本業務は、「令和7年度近畿環境パートナーシップオフィス運営等業務実施報告書」参照。

▼環境省 近畿環境パートナーシップオフィス（きんき環境館）令和7年度事業報告 掲載リンク

<https://www.kankyokan.jp/data/media/econet-kinki/page/about/index/pdf/R7annualreport-main.pdf>

2. 人材育成

2-3 行政との連携事業

今年度は新たに、大阪府からの委託事業として、「大阪府環境教育等行動計画」において環境教育等の推進に向けた具体的推進方策の一つとして掲げられている「人材育成・活用」に関して、環境活動（環境学習・保全活動、体験学習、職業体験等）に取り組む高校生等と事業者等との連携・協働の促進を図ることを目的とした「環境活動の推進に向けた高等学校等と事業者連携のためのデジタルカタログ制作業務」を行った。

【事業名】環境活動の推進に向けた高等学校等と事業者連携のためのデジタルカタログ制作業務

【実績】選定事業者数 52 者 掲載事業者数：31 者

【実施内容】企画提案、事業者選定、ヒアリング、カタログ制作、マニュアル制作

【主催】大阪府

【委託体制】エコネット近畿・BlankMap 共同企業体

【URL】<https://www.pref.osaka.lg.jp/o120020/eneseisaku/education/koukouseitankyu.html>



株式会社エフビコ

高品質で環境に配慮した製品を

エフビコは食品トレー・容器の製造、販売、リサイクル事業を通じて、持続可能な社会の構築、安心・安全で豊かな食生活の創造、「必要ときに確実に届ける」インフラの確立をめざしています。「エフビコらしさ」をつらぬきながら、すべてのステークホルダーにとって「いい会社」でありたいと考えています。

- こんなことに取り組んでいます！
- ✓ 食品トレーを製造、回収、再びトレーにして販売するという「トレー-to-トレー」の独自循環型リサイクルシステムを確立
- ✓ エフビコ環境基金の設立や出前授業の実施を通じた地域社会への参画

一緒に考えよう！

食品トレーや容器など、身近なアイテムから環境問題について考えてみよう！

企業活動を通じて、地域の仕組みづくりについて考えよう！

こんなことが体験できます！

PLAN 01 出前講座の実施

テーマ	食品トレー（プラスチック）の資源循環について
内容	食品容器のリサイクルの仕組みを学ぶ機会を提供することで、身近なアイテムからの視点で環境問題を考える契機にしよう。
実施方法	出張（クラス単位で）、オンライン OK（少人数から）
費用負担	無料

PLAN 02 リサイクル工場の見学

体験施設	エフビコ西宮選別センター（その他の工場は要相談）
内容	食品トレー、ボトル、透明容器の選別センターの見学。選別の様子をご覧いただけます。希望により座学にも対応します。
住所	兵庫県西宮市山口町阪神流通センター1-98-2
費用負担	無料（60～90分程度で要相談。45名まで）

PLAN 03 実験や調査研究に関する協力・連携

内容	プラスチック容器に関するアドバイスや取材協力、地域の仕組みづくりを考える。（「あったらいいこんなトレー」「もっと集めるにはどうしたらいい？」等）
開催方法	基本オンラインで、対面の場合は要相談。
推薦人数	グループ（要相談）
費用負担	無料

エフビコ サステナビリティ推進室の若林です！
普段は、グループの環境関連情報発信の広報を担当しています。
高校生の皆さんと一緒に、プラスチック製食品容器を通じて、プラスチックについて考えていきたいと思っています！
お気軽にご連絡ください。



事業者情報

（ATVグリーンエコプラザに集約あり）

事業者名	株式会社エフビコ
事業概要	トレーや容器の製造
所在地	東京都新宿区西新宿6-8-1 新都オクタワ
ホームページ	https://www.fbc.co.jp/
代表者名	佐藤 守正
設立日	1962年7月

事業者連絡先

担当者名	若林・飯田
電話番号	03-5325-7809
E-mail	Env-FB@fbc-net.co.jp
連絡受付日時	平日9:00～17:00
連絡方法	教職員からの連絡を推奨

3. 助成機関の支援・連携

3-1 助成サミットの開催

目的 ①助成機関同士の情報交流の場の提供
②助成機関とのネットワーク強化

目標 助成機関からの専門的な相談 → 達成（1件）

今年度は、認定 NPO 法人 Gift との共催で1泊2日の合宿型サミットを実施した。若手社会起業家や活動団体の若手職員をゲストに招き、地域で活躍する若者からの話題提供および現場の声を共有する意見交換の場を設けた。これにより、今後の助成金事業を検討するうえでのヒントや情報収集の機会を創出した。さらに、助成機関が抱える助成プログラムの運営や日々の業務に関する課題について、参加者同士が自由に質問・意見交換できる交流の時間を設け、相互理解の促進とネットワークの強化に努めた。

また、過去サミット参加機関から、助成金に関連する具体的な相談が1件あり、次年度事業として、環境助成金に関する調査業務を実施する可能性が生まれた（独立行政法人環境再生保全機構「地球環境基金」）。

【実施概要】 助成機関による話題提供、ディスカッション、情報交換

【実績】 サミット参加者数：5名（参加助成機関数：4機関）

【参加団体】 ※50音順、敬称略

株式会社エフピコ「エフピコ環境基金」

公益財団法人淡海文化振興財団（淡海ネットワークセンター）

公益財団法人河川財団

TOTO 株式会社「TOTO 水環境基金」

【実施日時】 1日目 2026年1月21日(水) 14:00~17:00

2日目 2026年1月22日(木) 9:30~11:30

【実施場所】 kokoka 京都国際交流会館 研修室（京都市左京区栗田口鳥居町2番地の1）

【対象者】 環境活動支援に取り組む助成財団・企業・団体

【共催】 認定 NPO 法人 Gift



図2 助成サミット 2025 1日目の様子



図3 助成サミット 2025 2日目の様子

4. 環境・中間支援 ネットワークの構築

4-1 会員団体交流会

- 目的 ①会員の相互支援
②会員の活動（事業）の現状把握

目標 大規模な交流会実施ではなく、小規模な交流会または、大規模交流会に向けた実行委員会立ち上げを行う
→ 達成

過去に実施していた「エコネット近畿情報交流会」を復活させるべく、企画実行委員会を立ち上げた。協議の結果、今年度は次年度のリニューアル開催に向けた検討期間と位置づけ、エコネット近畿情報交流会の実施は見送ることとなった。現在、次年度6月の総会におけるプレ企画開催および12月の本番開催に向け、具体的な企画を検討している。

＜実行委員会開催日＞

2025年

9月17日（水）、10月15日（水）、10月27日（月）、11月17日（月）、12月1日（月）、
12月22日（月）

2026年

1月26日（月）、2月13日（金）、3月25日（水）

4-2 きんき環境館運営業務

- 目的 ①近畿圏での中間支援機能について、情報、事例を集積する
②それぞれに合わせた情報提供を行う

※本業務は、「令和7年度近畿環境パートナーシップオフィス運営等業務実施報告書」参照。

▼環境省 近畿環境パートナーシップオフィス（きんき環境館）令和7年度事業報告 掲載リンク

<https://www.kankyokan.jp/data/media/econet-kinki/page/about/index/pdf/R7annualreport-main.pdf>

今年度は、きんき環境館と環境再生保全機構「地球環境基金」の連携事業として、地域課題の把握や課題解決に向けた戦略検討と、各地域におけるNPO等の環境保全活動を促進することを目的とした調査業務（兵庫県丹波地域における環境保全等に関する情報収集と、地域や環境課題解決に向けた協働取組の調査）を行った。

▼参考リンク：[公募プログラム設計における中間支援組織と連携した戦略的ニーズ調査](#)

（研究・技術計画学会 年次学術大会講演要旨集）

4. 環境・中間支援 ネットワークの構築

4-3 ESD 近畿会議

- 目的 ①全国や近畿圏での同分野、他分野、セクターを越えたネットワークの構築
②ESD に関する様々な情報の入手

今年度は実施しなかった。

4-4 各種ネットワーク、会議、プロジェクト等への参画

- 目的 ①全国や近畿圏での同分野、他分野、セクターを越えたネットワークの構築
②持続可能な社会の実現に向けた様々な情報の入手

- SDGs 市民社会ネットワーク（SDGs ジャパン）地域ユニットへの参加
地域ユニットへの参画は継続しているものの、今年度は月1回の定例会議への参加ができなかった。次年度以降は、全国のSDGs達成に向けた市民社会の動きを把握するため、定例会議への参加体制を整える。
- 再エネプロジェクト in 京都
プロジェクトの会議参加と市民共同の「陵ヶ岡児童館おひさまきらきらプロジェクト」に関する寄付募集の広報協力を実施した。（2025年10月29日（木）法人ホームページにて記事掲載）
【U R L】 <https://econetkinki.org/ohisamakirakiraproject/>
- 大阪・関西を盛り上げるCSO連携会議
関西のまちづくりや福祉分野に関わる団体（社会福祉法人大阪ボランティア協会、特定非営利活動法人関西NGO協議会、公益財団法人泉北のまちと暮らしを考える財団）と月1回の定期的な交流に参加し、ネットワークの強化を図った。
2025年
4月17日（木）、5月15日（木）、6月19日（木）、7月17日（木）、8月21日（木）、
9月18日（木）、10月16日（木）、11月20日（木）、12月18日（木）
2026年
1月15日（木）、2月19日（木）、3月19日（木）
- リンクアップフォーラム
隔月で開催されるフォーラムに参加し、企業等のCSRやESG関連部署と意見交換を行った。
2025年
4月8日（火）、6月10日（火）、8月19日（火）、12月9日（火）

5. その他

5-1 個別相談業務

目的

- ① 情報の提供、課題解決による環境活動の促進
- ② ニーズに合わせた情報提供・広報協力・課題解決による信頼の獲得

今年度は、昨年度よりも全体の相談件数および分類・項目ごとの相談件数が増加した。特に、NPO 団体、企業からの相談が増加傾向であり、相談のほとんどがメールニュースへの掲載と配架の依頼である。新規の団体からの依頼よりも定期的に依頼をいただくりピーターが多かった。また、助成機関については、助成金関連の広報先として認知されてきたことが件数増加の要因として考えられる。

【実施概要】 相談者に対して、必要な情報や専門知識、ノウハウの提供を行う。

【実績】 対応件数：165 件（昨年：159 件）

※相談件数や相談項目は、以下の表に記載。

	分類						
	任意団体	NPO 団体	企業	市民	行政	助成/金融機関	教育関係
相談件数	22	68	33	0	24	10	8
比率	13%	41%	20%	0%	15%	6%	5%
前年件数	4	65	11	3	40	36	0

	項目							
	ヒト,モノ	カネ	情報	マネジメント	ノウハウ	専門性	協働	その他
相談件数	2	14	146	0	1	2	0	0
比率	1%	8%	88%	0%	1%	1%	0%	0%
前年件数	1	23	133	0	0	2	0	0

5. その他

5-2 ホームページ、メールニュース、SNS による情報発信・公開

目的

- ① 人的資源、ネットワークを見せることで、中間支援としての信頼を獲得
- ② 他団体、行政、企業の広報協力を行うことで、環境活動を促進
- ③ 会員やつながりのある団体とのネットワークを強化
- ④ エコネット近畿の支援方法をわかりやすく提示（支援メニューなど）

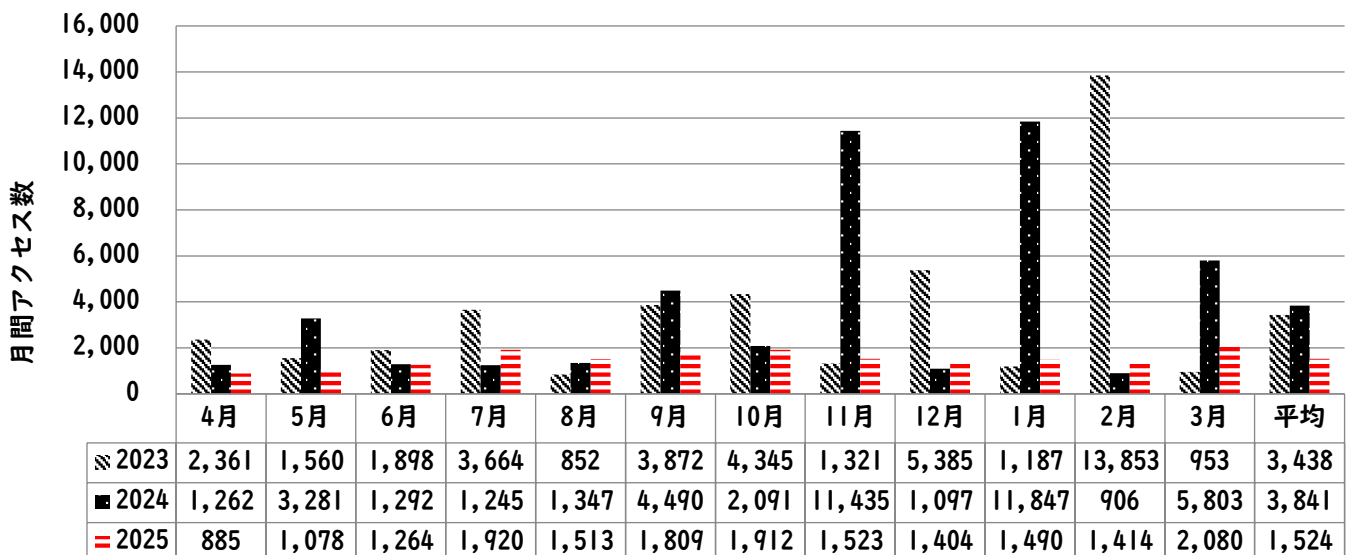
目標 ホームページのアクセス数の増加 → 未達成

ホームページの平均アクセス数は、昨年度よりも減少した。一方で、Facebook の「いいね！」数は増加したものの、フォロワー数は減少という結果になった。次年度以降は、限られたリソースの中でホームページのアクセス数増加にどこまで注力すべきかを検討しつつ、情報発信の手法や各ツールの運用については、引き続きブラッシュアップを図る必要がある。

＜発信情報＞イベントやセミナーの案内や報告、環境情報、助成金情報、NPO 運営に必要な情報等
 ＜ツール、配信頻度、配信件数＞ ※2026 年 3 月 31 日現在

- ・メール：メールニュースの配信 月3回／配信数：1,147 件
 （2025 年 11 月 1 日より、運用変更のため配信回数増加）
- ・メール：会員メールの配信 随時
- ・SNS：Facebook での発信 随時（「いいね！」数：858 件・フォロワー：858 人）

ホームページアクセス数



5. その他

5-3 その他

<イベント・事業の後援>

●リタワークス株式会社

「SOCIALSHIP 2025」 ※NPO 団体向け助成プログラム

●里山わびすけ

「生物多様性フォーラム in 河内長野 ～豊かな自然、豊かな暮らし～」

2025 年 6 月 21 日（土）13：00～16：00 河内長野市立市民交流センター（キックス）3 階大会議室

●奈良から世界へネイチャーポジティブの輪（和）／事務局：有限責任事業組合ヨイヨイ

「奈良から世界へネイチャーポジティブの輪（和） 第 1 回シンポジウム」

2026 年 2 月 11 日（水・祝）13：00～16：00 奈良女子大学 講堂

1 役員等の数

・理事長	1 人
・副理事長	2 人
・理事	9 人
・監事	2 人

2 2025 年度総会の開催

【実施日時】 2025 年 6 月 14 日（土） 14：30～17：30

【実施場所】 エル・おおさか 本館 701（大阪府中央区北浜東 3-14） +オンライン

【出席者数】 38 名（うち正会員出席数：32 名／本人出席：19 名、委任状出席：13 名）

【内 容】 審議事項

第 1 号議案 2024 年度 事業報告書 承認の件

第 2 号議案 2024 年度 活動計算書、監査報告書 承認の件

第 3 号議案 2025 年度 事業計画書（案） 承認の件

第 4 号議案 2025 年度 活動予算書（案） 承認の件

第 5 号議案 2025 年度 役員選任 承認の件

3 理事会の開催

第 75 回 定例理事会

【実施日時】 2025 年 5 月 30 日（月） 19：00～21：00

【実施場所】 オンライン開催（Zoom ミーティング）

【出席者数】 10 名（本人出席 10 名）

【内 容】 1. 2024 年度 事業報告書案 承認の件

2. 2024 年度 活動計算書案 承認の件

3. 中期ビジョンについて 承認の件

4. 2025 年度 事業計画書案 承認の件

5. 2025 年度 活動予算書案 承認の件

6. 役員選任（理事候補・理事長・副理事長） 承認の件

7. 総会議案について 承認の件

8. 登記住所移転について 承認の件

第 76 回 定例理事会

【実施日時】 2025 年 6 月 14 日（土） 16：10～16：20

【実施場所】 エル・おおさか 本館 701（大阪府大阪市中心区北浜東 3-1 4 大阪府立労働センター）
オンライン開催（Zoom ミーティング）

【出席者数】 12 名（本人出席 11 名、委任状出席 1 名）

【内 容】 1. 2025 年度 理事長及び副理事長の互選の件

第 77 回 定例理事会

【実施日時】 2026 年 1 月日（金） 19：00～21：10

【実施場所】 ハコカル天満橋（大阪市中心区 釣鐘町 1 丁目 1-1 AKレジデンス 603）
オンライン開催（Zoom ミーティング）

【出席者数】 12 名（本人出席 12 名、委任状出席 0 名）

【内 容】 1. 環境省「近畿環境パートナーシップオフィス運営等業務（きんき環境館）」次期企画競争について
2. 法人規程の内容修正に関する事項 承認の件
3. 後援申請依頼 承認の件

第 78 回 定例理事会

【実施日時】 2026 年 3 月 26 日（金） 19：05～21：10

【実施場所】 オンライン開催（Zoom ミーティング）

【出席者数】 9 名（本人出席 8 名、委任状出席 1 名）

【内 容】 1. 2025 年度予算執行状況 承認の件
2. 法人規程の内容修正に関する事項 承認の件

4 運営会議・プロジェクトチームの開催

今年度は実施しなかった。

会員の推移

会員の推移

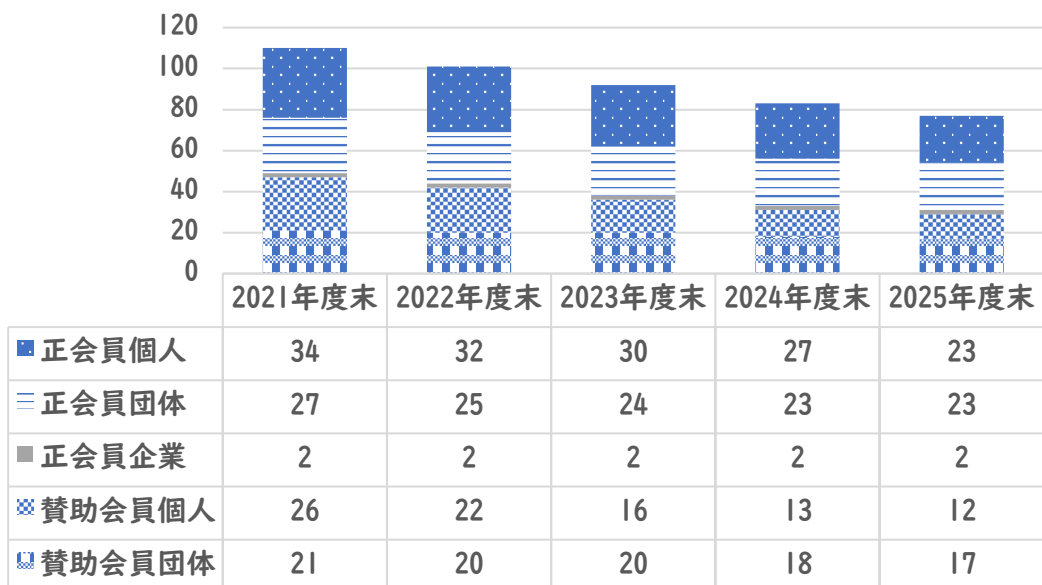
今年度の退会者は、7団体／人となった。退会者は前年同様に増加傾向にあり、理由としては「活動への参加が困難になったこと」や「高齢化に伴う退会希望」などが挙げられた。現状、既存会員向けのフォローや会員メリットの提供が十分に実施できていないことが課題である。今後は、改めて活動フィールドへの訪問や近況ヒアリング等の実施を検討し、活動状況やニーズ把握に努めるとともに、「エコネット近畿情報交流会」の参加呼びかけや、活動の役に立つ情報・交流の場の提供方法について、具現化を図っていく。

【入 会】 正会員 1団体・人、賛助会員 0団体・人

【退 会】 正会員 6団体・人、賛助会員 2団体・人

会 員			2024 年度末	2025 年度末	前年度比
	正 会 員	個 人	27	23	4 人減
		団 体	23	23	-
		企 業	2	2	-
	賛 助 会 員	個 人	13	12	1 人減
		団 体	18	17	1 団体減
		企 業	0	0	-
	合計（団体・人）			83	77

エコネット近畿 会員数推移



寄付のお願い

当会の自主事業を支える使途自由な財源として寄付金があります。

持続可能な地域づくりをコーディネートするために活用させていただきます。

どなた様でも、いくらからでも、受け付けております。

皆様からの温かいご支援を、心よりお願い申し上げます。

銀行振込の場合

・りそな銀行 南森町支店 普通 **0129580**

名義 (特非) 近畿環境市民活動相互支援センター
トクヒ) キンキカンキョウシミンカツドウソウゴシエンセンター

・ゆうちょ銀行 【店名】四一八 普通預金 **7924331**

トクヒ) キンキカンキョウシミンカツドウソウゴシエンセンター

郵便振替の場合

口座番号 **00960-9-109110**

加入者名 NPO 法人 エコネット近畿

他金融機関からの振込用口座番号

〇九九(ゼロキュウキュウ)店(099)/当座/**0109110**

NPO 法人エコネット近畿

(特定非営利活動法人 近畿環境市民活動相互支援センター)

〒553-0004

大阪府大阪市福島区玉川 1 丁目 4 番 17 号カフェウエウエテナンゴ内

TEL : 06-6881-1133 FAX : 06-7777-2261

Email : jimukyoku@econetkinki.org URL : <https://econetkinki.org/>

